

南極地域観測事業 第一次越冬60年記念展
「南極の技術60年の創造力」技術屋は、実現の困難とたたかうためにいる
関連イベント

南極観測隊員の心得十か条

サイエンス
カフェ 

非まじめがイイ!?



一年間、毎日、同じ顔触れで仕事も生活も共にしながら、
基地とその周辺という限られた空間の中で
生き抜かなければならないのが南極。

帰りたくても帰れない(迎えの船がやってくるのを待つしかない)、
好き嫌いなど言ってる場合ではない。

「不まじめ」ではダメなのは当たり前

「まじめ」すぎるとシンドクなる。

どんな態度や考え方が、
南極での生活を楽しくするのだろうか？

長年、隊員たちの研究や生活を支える
技術に携わり、南極経験10回のベテラン職員が、
体験から得た「非まじめ」のすすめとは？



温暖化が進む極地の現状と、
南極・北極探検の歴史を概
観しながら、西堀第一次越
冬隊から始まった日本の観
測隊について、主に、輸送、
エネルギー、水利用、建物、
越冬隊員の安全、楽しく暮
らす秘訣などについて、
ご紹介します。



石沢賢二さん

平成29年7月16日(日)
13:30~15:00

場所: 西堀榮三郎記念探検の殿堂

(東近江市横溝町419 電話0749-45-0011)

参加費: 200円(飲み物付き) ※別途、入館料がかかります。

定員: 30名(先着順)

(市民は無料)

講師: 石沢賢二さん

国立極地研究所 極地工学研究グループ 技術職員
極地設営技術の調査・研究
(再生可能エネルギー、内陸での輸送、
氷上建築、造水など)

サイエンスカフェとは 

講演会やシンポジウムとは異なり、科学の専門
家と一般の人々が、カフェなどの小規模な場所
でコーヒーを飲みながら、科学について気軽に
語り合う場をつくらうという試みです。

photo 近藤巧さん(第41次、49次、52次、56次、58次南極地域観測隊)
石沢賢二さん



<https://e-omi-muse.com/tankenn>

